2026 年度

研究分野	授業科目名	科目責任者
形態系分野	検証病理診断学特論Ⅰ・Ⅲ	塩見 達志

開講年次	共通／専攻／選択	単位数	
1,2,3,4	特論Ⅰ：必須専攻, 特論Ⅲ：選択	特論Ⅰ：4（2/年）, 特論Ⅲ：1/年	

目的

（1）病理学的な研究の意義を理解するために，実施の適応，研究の手法，結果の解釈法をそれぞれ習得する。
（2）病理診断学が臨床医学に寄与する意義を理解するために，症例検討会における病理学的解説法を習得する。

授業到達目標

（1）英語文献における病理学的用語について理解し，自分でも使用することができる。
（2）病理組織標本の作製過程を概説できる。

授業計画

回数	月日	曜日	時間	担当者	区分 1	区分 2	授業内容
1	隔週	金	16:00-17:00	塩見 達志	講義	[抄読会]	病理診断学，免疫組織化学等に関する研究手法や解釈に関する討論，文献紹介等を行う。 [場所:本館棟 5 階病理学実験室]
2	不定期	月～金	13:00-14:00	塩見 達志	講義	[症例検討会]	病理解剖症例検討会（CPC） [場所:附属病院 4 階病院病理部]
3	毎月	第 4 金	16:00-17:00	塩見 達志	講義	[症例検討会]	合同症例検討会（産婦人科，放射線科（画像診断）） [場所:本館棟 12 階カンファレンス 3]
4	毎月	第 3 水	16:00-17:00	塩見 達志	講義	[症例検討会]	合同症例検討会（乳腺甲状腺外科） [場所:本館棟 5 階カンファレンス]
5	毎週	火	9:00-10:00	塩見 達志	講義	[症例検討会]	合同症例検討会（消化管カンファレンス） [場所:総合医療センター 5 階カンファレンス 1]
6	毎週	火	16:00-17:00	塩見 達志	講義	[症例検討会]	合同症例検討会（消化管カンファレンス） [場所:本館棟 5 階カンファレンス 3]
7	毎月	第 3 月	16:00-17:00	塩見 達志	講義	[症例検討会]	合同症例検討会（泌尿器科，放射線科（画像診断）） [場所:西館 10 階カンファレンス室]

評価方法

【特論Ⅰ】
（1） 1 年間※で 30 時間出席し，科目責任者から履修手帳に出席印をもらい，提出する。
（2） 1 年間※で，論文紹介または症例発表を 2 回行い，その要約 2 編を提出する。
【特論Ⅲ】
（1） 1 年間※で 15 時間出席し，科目責任者から履修手帳に出席印をもらい，提出する。
（2） 1 年間※で，論文紹介または症例発表を 2 回行い，その要約 2 編を提出する。
ただし，特論Ⅰ・Ⅱで紹介したものとは異なる論文（症例）であること。
特論Ⅰと Ⅲの同年度での重複受講は不可とする。
※ 1 ～ 3 年生は 2 月末まで，4 年生は 11 月末までの講義を当該年度の単位認定の対象とする。

課題（レポート等）に対するフィードバック

（1）紹介論文の要約について，添削して返却する。
（2）症例検討会は事前に添削するとともに，発表時の討議内容について評価する。

教科書

ISBN-9784765317665, 外科病理診断学　原理とプラクティス, 真鍋　俊明（監）・三上　芳喜（編）, 金芳堂, 2018

参考書

ISBN-9784830604768, 組織病理アトラス（第 6 版）, 深山　正久・小田　義直・坂元　亨宇・松野　吉宏・森永　正二郎・森谷卓也（編）, 文光堂, 2015
ISBN-9784524249343, シンプル病理学, 笹野公伸, 岡田保典, 安井弥編集, 南江堂, 2020
ISBN-9784260050425, 標準病理学, 仁木利郎, 小田義直編集 ; 仁木利郎 [ほか] 執筆, 医学書院, 2023
ISBN-9784830604744, 病理組織マップ&ガイド, 深山　正久（編）, 文光堂, 2014
ISBN-9784830604812, 外科病理学, 深山正久, 森永正二郎編集主幹 ; 小田義直 [ほか] 編集, 文光堂, 2020

準備学習（予習・復習等）

（1）講義ごとに紹介する文献および論文を，次回講義までに読んでおく。
（2）事前に参考書で約 1 時間程度，該当箇所を予習しておく。
（3）紹介された論文の要約を作成する。
（4）症例発表に際しては関連する複数の論文を探索し，プレゼンテーションに盛り込む。
予習 1 時間，復習 1 時間を目安に。

修了認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連

課題を探求し，仮説立脚，検証に至るまでの科学的方法論・思考法を知悉する。

注意事項・メッセージ
（1）代表的な基礎的および臨床的英文論文を読む習慣を身につけてください。 （2）適切な論文探索の実施方法を習得するよう努力してください。 （3）相手にわかりやすいプレゼンテーションを行うよう心がけてください。